

HEARTLUCK HISTORY ～熱いHEARTのコラボレーション～

2007年 KOUSSAKU が浦安から始めたゴミ拾い「まるごみ」は、4年後の2010年には千葉県内で7万人が参加し、90tのゴミを拾い集めるまでに広がっていた。



2011年3月

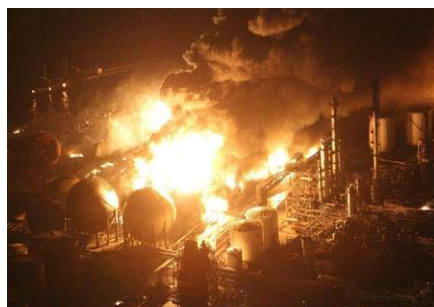
いよいよ日本まるごとゴミ拾いに向け発進しようとしていた矢先の3月11日、東日本大震災が発生。子供達と久しぶりにゆっくり午後の一時を過ごしていた KOUSSAKU は自宅の外へ避難した。激しく揺れる車と電信柱。泣きながら逃げてきた子供の同級生達を安全な場所に避難させなだめた。日本中の時が止まり、誰もが底知れない恐怖を感じた。そして、その恐怖は数時間後に津波の映像で現実のものとなる。



映像を見ながら「どうすりゃいい？ 一体何が出来る？」 KOUSSAKU は自問自答を繰り返した・・・。

時を同じく

株式会社 A-TRUCK のツートップの一人・守屋慶隆副社長は、千葉県内のとあるゴルフ場にいた。最終ホールの2打目を打つ寸前に地震発生。山はうねり、木々がきしみ叫び出す。尋常じゃない揺れと池の水の氾濫を見て津波が来る予感を感じた・・・。
すぐさま携帯をとり「海沿いに近寄るな」と社員に伝えるも三人目で繋がらなくなった。急いで車に乗り込み運転手にルートの指示を出す。
燃え上がる市原の石油コンビナートにただならぬ恐怖を感じた。



「なんじゃこりゃ!？」テレビに写し出された津波の光景を観て唾然とする。

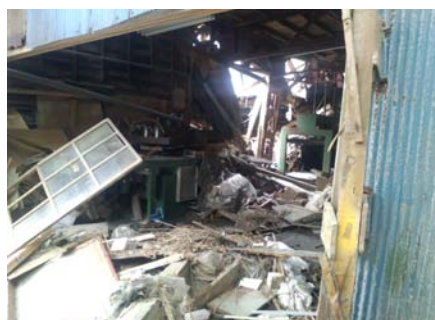
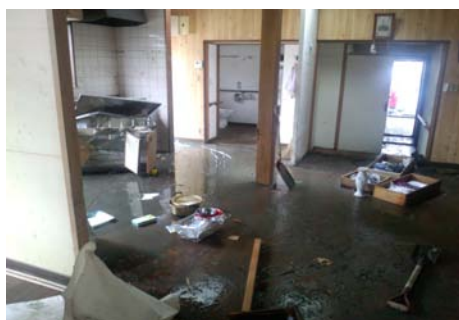
車中、震える手で社員と家族に連絡を取り安否を確認した。
安堵する間もなく可能な限り取引先等と連絡を取り合った。
と同時に社員と家族の為に食料と飲料水を会社に確保した。

今にして思えば、自分に関わるすべての命を守りたいという心の底から沸き上がった想いが現在の支援に繋がっていると守屋氏は振り返る。

しかし、この時は守屋氏も「一体自分に何が出来るんだ？」と自問自答を繰り返していた。

3月14日

千葉県で最も被害の大きかった旭市のまるごみメンバーから KOUSAKU の下へ救援物資の SOS が
入る。



3月15日

船橋のまるごみリーダーで株式会社・日本都市の大原社長の協力で支援の第一陣が旭市に入る

3月16日

第二陣として大原社長と KOUSAKU 自ら物資を持って旭市に入る。



これをきっかけに支援チームを立ち上げ、多方面から救援物資の依頼を受けようになる

3月17日

福島県郡山市の地元建築業・佐藤氏からプロレス団体 ZERO1 社長兼レスラー・まるごみ副実行委員長の大谷晋二郎の下へ
救援物資応援の連絡が入る。すぐさま KOUSAKU とやり取りし物資の調達を開始。

3月20日

まるごみ事務局長・石田の会社の4トラックいっぱい物資を積み込み郡山ビックパレットへ運ぶ



その帰り道、南相馬市で物資が足りないと知人から連絡が入る。すぐに地元浦安仲間に連絡をとり物資の調達を始める。そこから KOUSAKU の2日おきの被災地支援がスタート。

3月22日

南相馬市サテライト避難所・会津磐梯へ大原社長の会社トラックで物資運搬。



3月24日

宮城県石巻市不動町・明友館へ大原社長の会社トラックで物資運搬。



3月26日

宮城県石巻市不動町・明友館へ山寺宏一氏と物資運搬。



一方、株式会社 A-TRUCK は社員の安心感が取り戻せるまでは遠方への外出を控えさせ同時に経営者仲間を集め、徹底的に遊びや仕事にお金を落とした。やがて社員の心も落ち着きを取り戻した頃、KOUSAKU・大原両氏の必死な活動を目の当たりにして自分達に出来る事を考えさせられた。

そして「俺達も東北を助けに行こう！！」という言葉に全社員が賛同。さらにその言葉に取引先や仲間が生鮮食品を提供してくれた。

3月28日

宮城県石巻市不動町・明友館へ物資運搬。生鮮食品を4トントラック2台に満載し石巻明友館へ



3月29日

A-TRUCK は大久保社長と守屋副社長の共同経営で成り立っている。

被災地から帰った翌日、緊急会議を開いた席で守屋氏は「支援をとことんやり抜く」決意を表明。そして会社としてHEARTLUCK号の購入を決定。その後A-TRUCKは届ける千葉、略して「とどちば」を立ち上げ、本格的な支援活動をスタートさせた。



4月5日

船橋の知人から岩手県陸前高田市で物資が足りないとSOSが入った。

そしてKOUSAKUと守屋氏の出会いがあり、運命のコラボレーションはこの日始まった・・・



2011年6月

月日が経つにつれ国の方針が進みそれに伴い被災地の状況や支援形態も変化、その板ばさみとなっている被災地の方々の厳しい生活を間近で見て「この状況と現実を打破するため、日本の未来と希望を繋げるため、それぞれの団体の長として活動していくのではなく、二人のパワーを一つにすれば無限の可能性が発揮できる」と、新たに支援チーム「TEAM・BATMAN」を立ち上げることにしました。

チーム名の TEAM・BATMAN は、KOUSAKU の「こう」と守屋の「もり」で「こうもり」。こうもりといえば正義のヒーロー・バットマンってことで（笑）

2011年8月6日

bayfm にて東日本大震災復興支援番組「KOUSAKU の HEARTLUCK」を株式会社 A-TRUCK が出資して番組をスタートさせる。タイトルの“HEARTLUCK（ハートラック）”は、“心・ハート=HEART”と“巡り合わせ・幸せ=LUCK”を合わせた造語で、また“心（ハート）をトラックで届ける”という？意味も込めて命名。

KOUSAKU が熱い HEART で語り、ラジオを通じて集まった仲間達の想いを、株式会社 A-TRUCK が熱い HEART で届ける。KOUSAKU & 守屋氏の超異色タッグが誕生

